

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-09 道路橋りょう管理運営事業 □支 援 部 門										
主管課	道路整備課	関連課									
分野名	道路整備										
目標 (目標値)	道路・橋りょうの良好な維持管理										
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考						
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯							
	事業の対象者数										
運営資源 状 況	決算値(千円)	39,550	39,803	40,517							
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	39,550	39,803	40,517							
	人員配置数	1.0	1.3	2.0							
	人 件 費(千円)	8,689	11,976	18,755							
	協 働 の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	48,239	51,779	59,272							
	市民1人当 りの経費(円)	272	293	336							
	対象者1人 当りの経費(円)										
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体との 比較値)	団体名										
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)				
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。				
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。				
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
道路橋りょう管理運営事業	39,550千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○					⇒ □A	■B	□C	□D	□E
	事業の概要	土木積算システムに係る保守及び機器等管理業務									
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要										

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)

H22年度の課題	現行の土木積算システムは、運用課(7部16課)の全てを統括し、管理運営事業を担っているため、事務が繁忙となっている。					
課題解決のための取組	運用課(7部16課)の協力体制の強化や事務の改善を行うことにより、事務の緩和が図られた。					
未解決の課題	現行システムが平成25年8月に期間満了となるため、今後活用強化のためのソフト選定にかかる調整も必要となることから、統括・管理運営事務に過度の負担となることが予想される。					
今後の方針	平成25年8月に期間満了となる現行土木積算総合システムについて、必要に応じて改修を検討する。					
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	⇒	B	※□事業完了	課長名	道路整備課長 吉野正弘

